



自治会等地縁による団体功労者 総務大臣表彰

小屋浦地区住民福祉協議会会長の出下 一教氏が、永年にわたり、地域活動の推進及び町の発展に貢献された功績が認められ、自治会等地縁による団体功労者として総務大臣表彰を受賞されました。



寄附の受納

広島安芸法人会からAEDを寄贈していただきました。一人でも多くの方の命を救うために有効活用させていただきます。ありがとうございました。



▲左から 藤田坂支部長代理、梅田副会長、吉田町長、城本会長、日吉田副会長、高木府中支部長代理

坂町農産物品評会

12月7日（土）、8日（日）に坂小学校体育館及び小屋浦ふれあいセンターで、坂町農産物品評会が盛大に開催されました。農産物は、坂会場80点、小屋浦会場71点で、合計151点の出品がありました。作品は優れたものばかりで、厳正な審査の結果、次の方が入賞されました。また、町内保育園の園児が地元の協力者と共に、農作物の栽培・収穫を体験した記録写真の展示も行われました。

坂町長賞

政本 和雄（キャベツ）

ひろしま農業協同組合 組合長賞

正原 美恵子（白菜）



種類別一等賞

- 葉菜類 新木 郁美（キャベツ）
政本 和雄（白菜）
- 根菜類 正原 美恵子（大根）
二艘木 秀吉（大根）
- 芋 類 正原 美恵子（サツマイモ）
- 果実類 正原 美恵子（レモン）
二艘木 秀吉（はっさく）
- その他 政本 和雄（平茸）

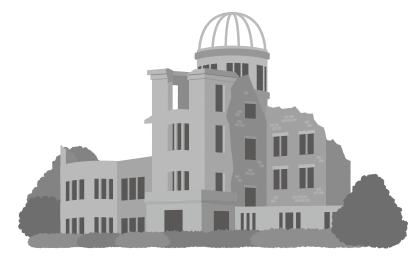
坂町の野菜をたくさん食べま賞
坂みみょう保育園

その内容は、私にはショッキングなもので、「水、水、水、水をください」という言葉や、燃えた骨が粉になり舞う様子などを表現された。私が思い描いていた当時の様子は、水を求めた人が次々に川へ飛び込んでいったという漠然としたイメージだったが、実際に半紙に浮かび上がった言葉は、当事者の気持ちや願いといった心情的なもので、私は圧倒されてしまった。また、その字は草書のような部分もあり、一見、読めないと思ったが、よく見てみると問題なく読める字だった。一見した時の激しさとは裏腹に、ひしひしと伝わってくる思いや訴えがあまりにも惨かったのを覚えてる。

今現在でも、原爆投下は、私たちに大きな影響を与えている。私の祖母は、広島原爆の被爆者だ。祖母は、原爆投下二日後に、曾祖母におぶられて、広島市内へ救助に向かったらしい。放射能濃度の高い環境にいたこと、黒い雨を浴びたことで被爆してしまったのだという。そして、被爆者である祖母は、ついこの前、81歳で初めて原爆手帳の申請を行った。手帳の申請は67年前から受け付けているにもかかわらず、何故、申請をしていなかったのかを尋ねると、原爆手帳とは、当時、被爆者であることを公に証明する物で差別の対象になってしまうと考え、原爆手帳を持たないという判断をしたと教えられた。広島原爆はもう80年近く前の出来事となったが、その被害が、未だに続いていくことを知った。

授業も終盤に差し掛かった頃、他の学校での授業写真が載ったパンフレットを手渡された。そこには、みんなの「一番大切だと思うもの」が筆でそれぞれに書かれた写真が載っていた。ある写真には「家族」「友達」「自然」と書いてあった。私のクラスでは、一番大切なものに、「からあげ」を挙げている人もいた。バカげていると思いつつも面白くて笑えてきてしまった。今、こうして私たちがバカな事をして笑えるのも、日本人の危機感のなさを平和ボケだと言えぬのも、本当にとってもとても幸福なことだと私は思う。核保有国が多くある中で、未だ日本が非核三原則を掲げているのは何故なのか。日本が戦争で敗けるよりにより重大なのは、あの惨劇を何者にも二度と繰り返させないということなのではないだろうか。正直、日本が核に頼らなければならぬ程危機に瀕した時、核という手段を取ってしまったらいなら、いっそのこと滅んでしまおう方がよっぽど良いと思ってしまう。もし、その手段を取るならば、その瞬間に、ただそこにあるだけのからっぽな国になってしまうと私は思う。日本を守るといふのは、国の存続が全てではなく、歴史を、

人の思いをつないで反映させることでもあるのではないだろうか。私たちは、今一度、「日本を守る」という本当の意味を考え、「つなぐ」ということの本質を知らなければならぬと思う。そして、先生がおっしゃった広島に生きる者の使命を果たさなければならぬ。先生があの日、力強く書かれたあの言葉を胸に刻んで。過去に思いをはせ、今を懸命に生き、そして未来へ、私は「つないでいく、ヒロシマの心」を。



広島県特定（産業別）最低賃金が改定されました

最低賃金（時間額）		最低賃金（時間額）	
広島県最低賃金	1,020円	船舶等製造業	1,030円
鉄鋼業	1,114円	金属製品製造業	1,020円
機械器具製造業	1,070円	自動車小売業	1,020円
電気機械器具製造業	1,045円	各種商品小売業	1,020円
自動車製造業	1,048円		



発効日等、詳しくはこちら